

エルサルバドル政治経済月報

(2025 年 7 月)

2025 年 7 月
在エルサルバドル大使館

内政

1. 憲法改正（大統領の連続再選及び中米議会からの離脱）

7 月 31 日、議会は、大統領の連続再選及び中米議会からの離脱に係る憲法改正を承認した。

(1) 大統領の連続再選等

大統領選挙にかかる憲法第 4 条の改正により、大統領の連続再選が可能となり、任期が 5 年から 6 年に変更された。また、現在の 2029 年までの大統領任期を前倒しして、2027 年に大統領選挙、議会議員選挙及び市議会議員選挙を実施、次期大統領は 2027 年 6 月から任期を務めることとなった。

(2) 中米議会からの離脱

中米議会議員にかかる憲法第 80 条及び第 133 条の改正により、憲法から中米議会議員に関する言及が削除された。改正事由は、中米統合機構（SICA）の他の機関とは異なり、中米議会は法的地位を有しているにもかかわらず、エルサルバドルの代表が、その権限に基づき、この機関の目的と一致する効果を生むような立法案を推進した証拠は存在せず、統合を促進し支援するための規範的な枠組みを提供するために設立されたこの機関において、そのような取り組みが行われた形跡もないというもの。

外交

1. ヒル外務大臣の第一回中米 EU 連携評議会出席（外務省プレスリリース他）

7 月 14 日、第一回中米 EU 連携評議会にエルサルバドルを代表してヒル外務大臣が出席、同大臣は、「共有された価値、相互尊重、持続可能な発展と社会変革のための具体的な約束に基づいた同盟の基礎を築くことで、我々の関係の歴史的瞬間を刻む」と述べた。同評議会には、エルサルバドルの他に、アンドレ・コスタリカ外務大臣、マルティネス・グアテマラ外務大臣の他、ホンジュラス、ニカラグア、パナマの代表も参加。ヒル大臣は、本会議の傍ら、カラス EU 外務・安全保障政策担当上級代表兼副委員長、ベッテル・ルクセンブルク副首相兼外務・対外貿易大臣、ララスムセン・デンマーク外務大臣と会談した。

2. エルサルバドル中国関係（副大統領 SNS）

(1) 中国外交部中南米局長の来訪

7月14日、ウジョア副大統領は、両国の友好と協力関係強化の一環として張潤（Zhang Run）中国外交部中南米局長率いる中国代表団と会談した。副大統領は、定期的な会合を通じた戦略的パートナーと関係を維持・深化に向けたブケレ政権の姿勢を再確認した他、民主主義と国の安定への約束の証として、国家と民主主義に関する国際会議の成功を共有した。張局長は、エルサルバドル政府の成果に祝意を表するとともに、二国間関係を戦略的パートナーシップに格上げする意向を示し、エルサルバドルを協力の玄関口として確立し、中米での協力を促進するためのエルサルバドルのリーダーシップに対する完全な信頼を確認した。

(2) 中国共産党中央対外連絡部代表団の来訪

7月22日、ウジョア副大統領は、両国間の絆を強化することを目的とする公式訪問の一環として、Ma Hui 副部長率いる中国共産党中央対外連絡部の代表団と会談した。同副大統領は、エルサルバドル国民の多くの願望が中国政府と共有されており、二国間関係に共通の戦略的ビジョンを与えていることを強調した他、エルサルバドルが中国の発展モデルと経験から学ぶことに関心を持っており、国民の声を意思決定に恒常的に取り入れる協議型民主主義モデルに向けて進むことを再確認した。Ma Hui 副部長は、ブケレ大統領のリーダーシップと治安、ガバナンス、社会福祉の分野で達成したエルサルバドルの進展を認識するとともに、中国政府がガバナンス、政治教育、制度的発展に関する経験を共有し続ける用意があることを再確認し、あらゆるレベルでの二国間交流を強化することへの積極性を強調した。

3. パキスタン暗号資産担当大臣の来訪（ビットコインオフィス SNS 他）

7月15日、ブケレ大統領は大統領府にてビラル・ビン・サキブ・パキスタン暗号資産担当大臣と会談し、ビットコイン準備高、ビットコインマイニングとエネルギー資源、ビットコイン教育等について意見交換した。サキブ大臣は、ブケレ大統領による国を初の新興技術の主権的な実験場に変えた先進的な政策を惜しみなく称賛し、成果をもたらしたリーダーシップを褒め称えた。また、同大臣は、金融教育、AI、ロボティクス、ビットコインの戦略的準備高に関する政策の知識交換を促進するため、ステイシー・ハーバート・ビットコインオフィス長と意向表明書に署名し、パキスタンにてエルサルバドルのモデルを再現したいと述べた他、ビットコインに基づく国際関係の新たな時代を「ビプロマシー（biplomacy）」と呼ぶことを提案した。

4. ICJ への胸像贈呈及びヒル外相と岩澤 ICJ 所長の会談（外務省プレスリリース）

7月18日、エルサルバドル外務省は、1946年から1948年まで、ICJの初代所長を務めたエルサルバドル法学者で外交官のホセ・グスタボ・ゲレロ博士をたたえるため、ハーグのICJに同博士の胸像を贈呈、贈呈式には、ヒル外務大臣とバスケス駐蘭エルサルバドル大使、岩澤 ICJ 所長他が出席した。また、ヒル外務大臣は、岩澤 ICJ 所長との間で、相互の関心事項を確認する会談を行った。

5. ベネズエラ人収監者と米政治犯の交換（ブケレ大統領 SNS）

(1) 7月18日、ブケレ大統領は、米国から強制送還されテロ対策センター（CECOT）に収容されていた252名のベネズエラ人と、政治犯としてベネズエラで身柄が拘束されていた米国人10名及びベネズエラ人80名の身柄の交換について、ベネズエラ人が輸送機に搭乗する動画と共に、「エルサルバドルで拘束されていた犯罪組織トレン・デ・アラグアの一員であると告発されたベネズエラ国民全員を引き渡した」と投稿した。また、後刻、解放された10名の米国人が米国への帰国に先立ちエルサルバドルに立ち寄り、アダム・ボーラー米人質交渉特使他と共に大統領府にてブケレ大統領と面会している様子の動画も投稿した。

(2) 7月21日、ブケレ大統領は、「マドゥロ・ベネズエラ大統領は交換提案に満足していたため受け入れたが、世界で最も強力な国の人質を失ったことに気づいたため、叫び、憤慨している」とする投稿を行った。

6. トルコ・エルサルバドル外相会談（外務省プレスリリース）

7月22日、トルコのアンカラにおいて、ヒル外務大臣はフィダン・トルコ外務大臣と会談し、両政府が推進する協力、政治的および経済的関係について協議した。ヒル大臣は、トルコ国際協力調整庁（TIKA）を通じた経済、航空宇宙、海事法、外交官育成、開発協力の分野での9つの協力合意を強調し、エルサルバドルがトルコを同盟国、友人、パートナーとして見ており、外交、教育、産業、技術面で協働し、貿易と投資の絆の強化に完全にコミットしていると述べた。フィダン・トルコ外相は、エルサルバドルの主導的役割を認識した他、トルコ企業が既にエルサルバドルに投資をしている点に触れ、両国の経済関係の更なる強化が目標であるとした。

7. ガブリエラ大統領夫人のモロッコ公式訪問（大統領府 SNS）

7月27日から、ガブリエラ大統領夫人は娘2人と共に、ララ・アスマ王女殿下の招待でモロッコを公式訪問し、聴覚障害関係の施設を訪問した他、連帯大臣他、幼児教育や障害者教育関係者等と意見交換した。

経済

1. ラ・ウニオン港への8艘目の自動車運搬船の入港（7月1日付大統領府 SNS 及び 7月4日付ディアリオ・エルサルバドル紙）

7月1日、新たな自動車運搬船「RCC 上海」が自動車、トラック、掘削機など620台の貨物を積んでラ・ウニオン港に入港。エルサルバドル東部のラ・ウニオン港はイルポート社との提携により、港湾を刷新し、海外市場との接続性を強化して地域経済活性化の原動力と

なっている。

2. IMF 対エルサルバドル 4 条協議及び長期融資制度に基づく第 1 回レビュー（IMF プレスリリース）

7 月 15 日、国際通貨基金（IMF）は、対エルサルバドル 2025 年 4 条協議及びエルサルバドルの長期融資制度（EFF）に基づく第 1 回レビューを公表し、8,616 万 SDR（約 1 億 1,800 万米ドル）の即時支出を許可した。IMF は、エルサルバドルの重要な目標の一つは「銀行と年金基金による資金調達への依存を制限する」ことであるとし、また EFF に基づく第 1 回レビューによれば、未完了事項があるものの、設定された定量的パフォーマンス基準の大半とすべての指標目標は達成されていると評価。また、ビットコインについて、2025 年 7 月末までの Chivo（電子ウォレット）の公的資金使用及び Chivo の公的参加の終了のための新たな事業計画が採択、公表された。

3. 中国による国際展示場（CIFCO）建設のための政府所有地の CIFCO への譲渡（7 月 16 日付当地主要各紙）

(1) 7 月 15 日、エルサルバドル議会の在外エルサルバドル人・立法・政府委員会は、組織である国際展示場（CIFCO : Centro Internacional de Ferias y Convenciones）が独自の施設を持つことができるよう、財務省所有の 55,711.13 平方メートルの不動産の譲渡という提案を承認した。

(2) Xhang Yanhui 駐エルサルバドル中国大使は、2024 年 5 月、無償資金協力の一環として、新しい CIFCO の建設に協力すると述べた。「まだ調査・評価中であるが、今後数ヶ月により実質的な進展があるはずであり、外務省の向かい側に、そして建設中の国立競技場のすぐ近くに建設される予定である」と右大使は述べた。

4. 外国直接投資促進のための 3 法案の議会提出（7 月 25 日付ディアリオ・エルサルバドル紙及びプレンサ・グラフィカ紙）

ブケレ大統領は、財務省を通じ、外国投資促進のための法的枠組強化を目指した 3 法案を議会に提出した。1 つは、エルサルバドルで新規投資を行う事業体で働く管理者および技術者等の給与に対する税制上の優遇措置、2 つめは 20 億ドル以上の新規高額投資を行う投資家等に対して法人税・所得税の免除等。右 2 法案については 7 月 29 日の財務・特別予算委員会で承認された。3 つめの「洗練された」投資家を対象とした投資銀行を創設し、ビットコインの取り扱いを可能とする「投資銀行法」については引き続き審議となった。

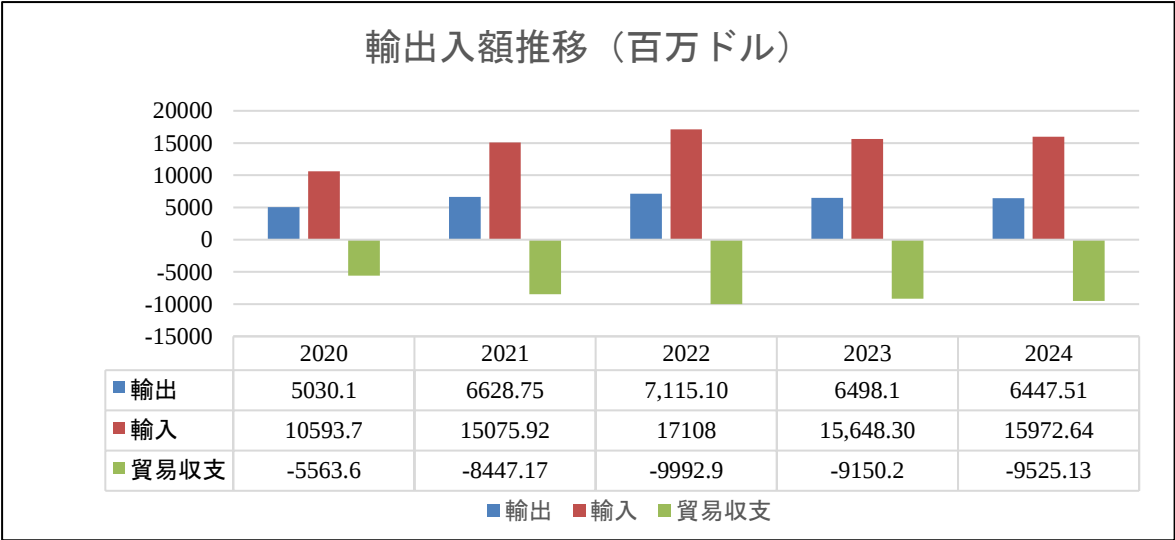
5. サンミゲルバイパスへの照明機材設置（29 日付公共事業省（MOP）SNS 他）

サンミゲルの重要なヘラルド・バリオス環状道路（注：サンミゲルバイパス別名）は、21 キロメートルの道路区間に沿って設置された透明のポールにより、エルサルバドルの

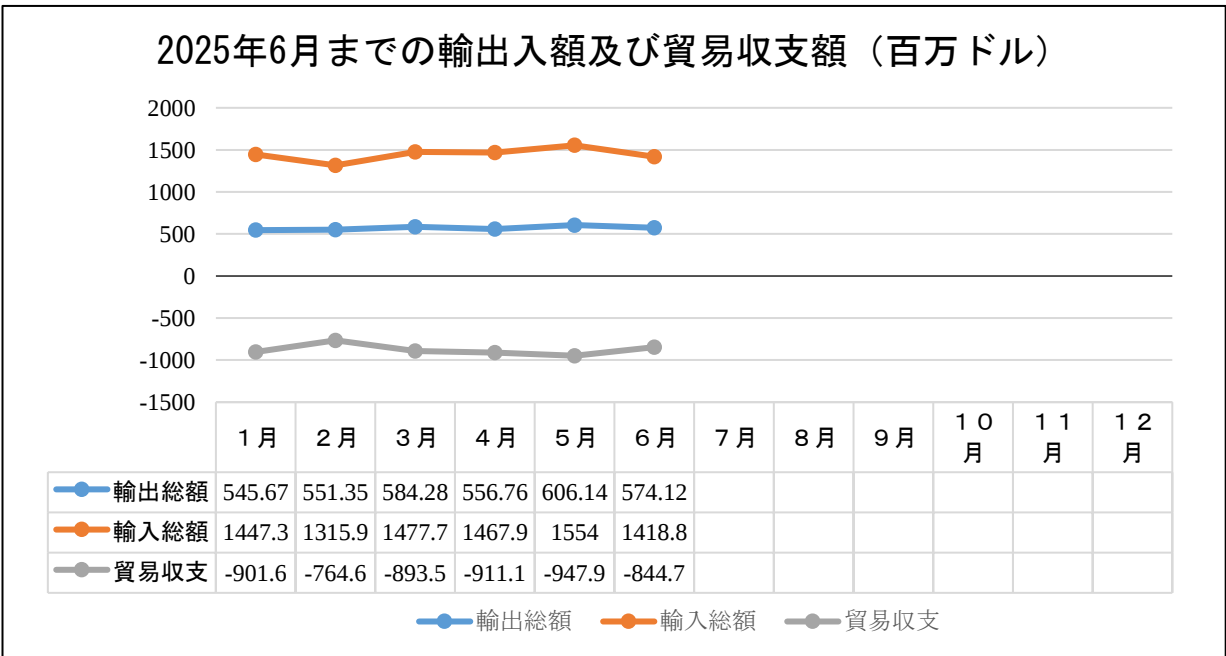
国旗色である青と白で光っている。ロドリゲス MOP 大臣は、「サンミゲルバイパスのプロジェクトは完成して既に使用されているだけでなく、照明機材の設置を進めており、遅くとも来月（8 月）には 100%照明されることを期待している。実際、毎日、エルサルバドル人家族はより多くの区間が照らされていくのを目の当たりにすることとなる。それは、照明機材設置完了まで土日を含め 22 日間を設定しているからであり、8 月中旬には完了する見込みである」と述べた。

6. 貿易総額

2024 年の輸出総額は 64 億 4, 4751 万ドル（前年比 0. 8%減）。輸入総額は 159 億 7, 264 万ドル（前年比 2. 1%増）となった。



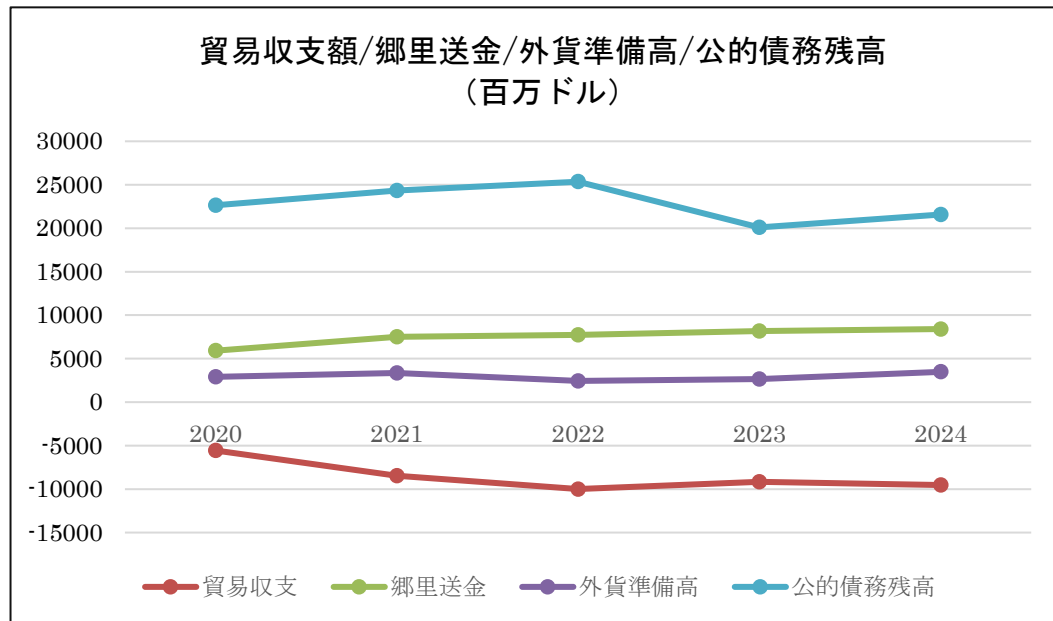
（エルサルバドル中銀データをもとに作成）



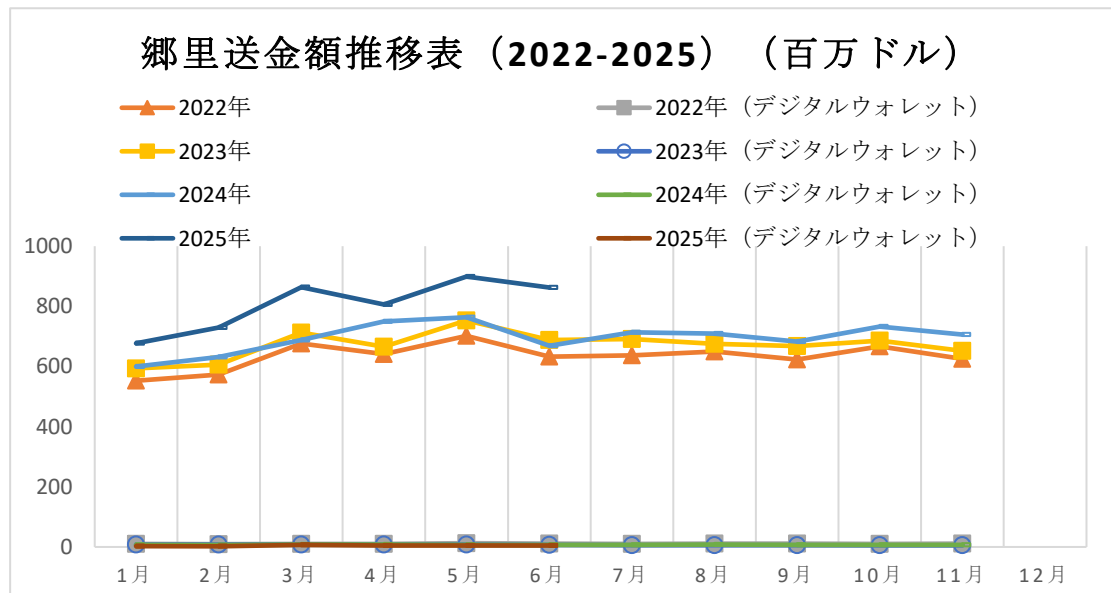
(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

7. 貿易収支額・郷里送金・外貨準備高・公的債務残高

- ・2024 年の貿易収支額はマイナス 95 億 2,513 万ドルとなり、前年より赤字額が 3 億 7,493 万ドル増加した。
- ・2024 年の郷里送金額は 84 億 797 万ドルとなった。そのうち米国からの送金は全体の 91.6% (77 億 692 万ドル) を占めた。



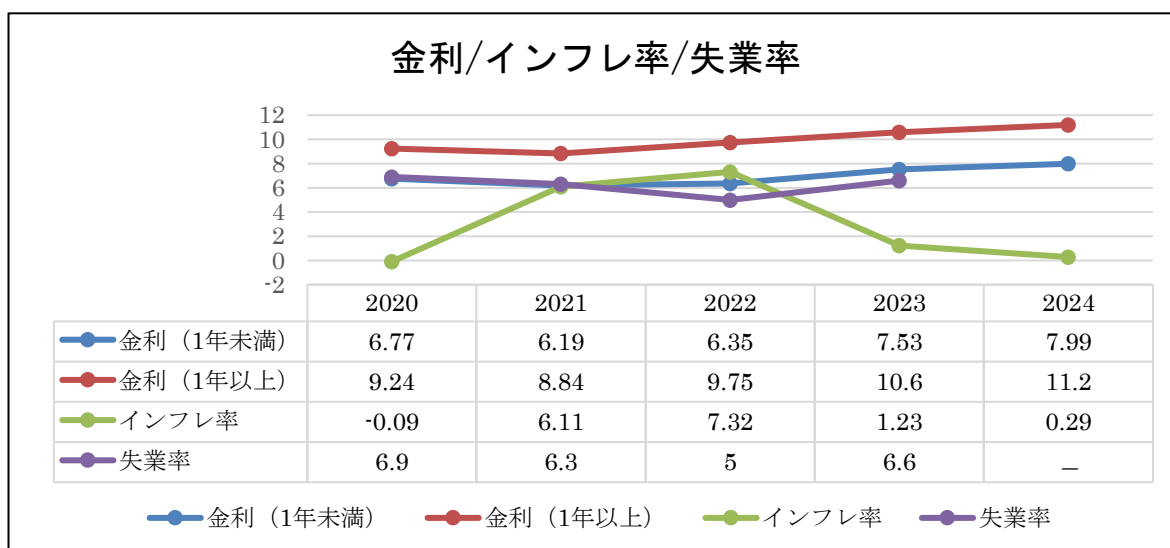
(エルサルバドル中銀データをもとに作成)



(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

8. 金利・インフレ率

2024 年のインフレ率はプラス 0.29%であった。また 2024 年の失業率は現時点で公表されていない。



（エルサルバドル中銀データをもとに作成）